

施策分析シート（令和4年度）

No1

施策名	多様な子育て支援の展開	施策No	03-01	部課名	子ども家庭部子育て支援課		
				課長名	小堀	内線	3811
関連部課名	子ども家庭部児童青少年課、保育課、子ども家庭総合センター、区民生活部区民施設課、健康部健康推進課						
行政評価事業体系	分野	Ⅱ	子育て教育都市				
	政策	03	子育てしやすいまちの形成				

目的 全ての子育て家庭が安心して子育てができるような支援体制を構築する。
乳幼児及びその保護者に対する多様な子育て施策を展開するとともに、児童が放課後等に安全・安心に過ごせる環境を整備し、児童の健全育成と全ての子育て家庭の福祉の増進を図る。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		元年度	2年度	3年度	
①	望む子育てができている実感度	3.38	-		自分が望む子育てができるような環境があると感じますか？
②					
③					
④					

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		元年度	2年度	3年度	4年度見込み	目標値(8年度)	
①	年少人口（人）	24,688	24,712	24,620	24,308	23,825	各年1月1日時点の人数
②	地域子育て交流サロン延利用者数（人）	80,456	46,052	49,692	58,000	100,000	ゆいの森あらかわを除く全交流サロンの延親子利用者数
③	荒川遊園入園者数（人）		0	0	0	500,000	年間入園者総数 (30年12月～4年4月20日休園)
④							
⑤							

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	2年度	3年度	差額	2年度		3年度	差額		
行政費用	給与関係費	206,943	460,993	254,050	地方税等	0	0	0	
	物件費	1,093,724	1,474,492	380,768	国庫支出金	2,130,094	2,244,722	114,628	
	維持補修費	23,163	73,249	50,086	都支出金	606,802	735,310	128,508	
	扶助費	3,662,715	3,744,037	81,322	分担金及び負担金	0	72,806	72,806	
	補助費等	107,984	148,332	40,348	使用料及び手数料	5,981	6,361	380	
	減価償却費	130,730	218,313	87,583	その他	5,173	12,475	7,302	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	6	6	行政収入合計(a)	2,748,050	3,071,674	323,624	
	賞与・退職給与引当金繰入額	22,886	44,873	21,987	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 2,743,864	▲ 3,566,192	▲ 822,328	
	その他行政費用	243,769	473,571	229,802	金融収支差額(d)	0	▲ 23	▲ 23	
	行政費用合計(b)	5,491,914	6,637,866	1,145,952	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 2,743,864	▲ 3,566,215	▲ 822,351	
	特別費用(g)	127,238	0	▲ 127,238	特別収入(f)	0	22,074	22,074	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 127,238	22,074	149,312	当期収支差額(e)+(h)	▲ 2,871,102	▲ 3,544,141	▲ 673,039	

貸借対照表	勘定科目				流動負債	勘定科目			
	2年度	3年度	差額	2年度		3年度	差額		
流動資産	収入未済	516	495	▲ 21	還付未済金	0	0	0	
	不納欠損引当金	0	▲ 32	▲ 32	特別区債	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	8,675	15,046	6,371	
固定資産	有形固定資産	6,402,507	9,275,908	2,873,401	その他の流動負債	0	0	0	
	土地	3,582,323	4,166,333	584,010	固定負債	78,654	230,087	151,433	
	建物	4,565,481	6,255,388	1,689,907	特別区債	0	69,000	69,000	
	建物減価償却累計額	▲ 2,893,491	▲ 3,051,879	▲ 158,388	退職給与引当金	78,654	161,087	82,433	
	工作物等	2,739,402	3,569,393	829,991	その他の固定負債	0	0	0	
	工作物等減価償却累計額	▲ 1,591,208	▲ 1,663,328	▲ 72,120	負債の部合計	87,329	245,133	157,804	
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	7,098,350	9,063,828	1,965,478	
建設仮勘定	777,925	22,500	▲ 755,425	正味財産の部合計	7,098,350	9,063,828	1,965,478		
その他の固定資産	4,731	10,090	5,359	負債及び正味財産の部合計	7,185,679	9,308,961	2,123,282		
資産の部合計	7,185,679	9,308,961	2,123,282						

財務諸表に関する特徴的事項等

- 行政費用では、児童手当や子ども医療費助成などの扶助費が約55%、学童クラブや放課後子ども教室の委託などの物件費が約25%を占めている。給与関係費の増加は、児童福祉施設等指導検査体制の整備によるものである。
- 有形固定資産は、保育園やひろば館（児童事業館）、荒川遊園などである。大きく増加しているのは、主に荒川遊園リニューアル工事によるものである。
- 行政収入のその他は、一時保育及び緊急一時保育の利用料、運営費補助精算時の返還金などである。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○少子化・核家族化の進展、地域コミュニティが希薄化していること等により、子育てに対する不安や負担感を持つ家庭、地域社会から孤立する家庭が増加している。</p> <p>○共働き家庭の増加等、保護者の就労状況についても多様化している。</p> <p>○出生数は1,700人台で推移していたが、平成30年は1,568人に減少した。その後令和元年は1,643人に増加し、2年は1,620人とほぼ横ばいの数字となっている。</p> <p>○保護者の多様なニーズに応えるため、子育て交流サロンや一時保育、病児・病後児保育などを実施している。</p> <p>○令和元年度から健康部と連携した子育て世代包括支援センター事業を開始し、妊娠期から出産、子育て期までの切れ目ない支援を行っている。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症のため、外出自粛や子育て支援拠点の利用制限等により、子育て家庭の孤立化、負担の増加といった影響が出ている。</p> <p>○あらかわ遊園は子育て支援施設として平成29年度より改修計画を進め、令和4年4月21日にリニューアルオープンした。</p>
課題	<p>○身近に相談できる人がいない在宅育児家庭や共働き家庭が安心して子育てができるよう、区民ニーズを的確に把握しつつ、地域の関係機関と連携・協力を図るなど、子育て家庭を支えていく体制を強化する必要がある。</p> <p>○全ての児童が、保護者の就労の有無にかかわらず、放課後に安全で安心して過ごすことのできる場が必要である。</p> <p>○子育て世代のニーズ調査結果を踏まえ、在宅育児家庭を含めた全ての子育て家庭が、必要なサービスを選択し利用できる環境づくりが必要である。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により生じている様々な問題に対して、改善に向けた検討や取組が求められている。</p> <p>○あらかわ遊園について、リニューアルオープン以降、安全第一を基本とした管理運営とともに、中・長期的に持続的な集客の向上を図るため、PR方法やリピーター確保に向けたイベント等を検討していく必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を提供するために、子育て世代包括支援センターとしての機能を充実していく。</p> <p>○子育て交流サロンの拡充により、身近に相談ができる交流の場を提供するほか、在宅育児家庭が安心して子育てができるよう、一時保育事業やファミリーサポートセンター事業に加え、在宅での子育てサポート施策を充実し、社会全体で子育て家庭が安心できる地域をつくる。</p> <p>○「放課後子ども総合プラン」の拡大等により、「小1の壁」の解消と、次代を担う人材の育成を図るとともに、児童が放課後に安全で安心して過ごす居場所を確保していく。</p> <p>○子育て家庭に対する切れ目ない支援を提供するとともに、子育てに対する経済的負担を軽減するため、多子世帯や低所得者をはじめ、様々な世帯のニーズに的確に対応した支援を行っていく。</p> <p>○長期化するコロナ禍において、刻々と変化する感染状況や社会情勢、国及び他自治体の動向を踏まえ、必要に応じた支援を行っていく。</p> <p>○あらかわ遊園ではイルミネーション導入等、新たな魅力を創出する取組みを進めていく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
4年度	5年度	
重点的に推進	重点的に推進	子どもが安心して暮らせるまちとするために、様々な子育て支援サービスを展開していく。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		2年度	3年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
親子ふれあいひろば（ふれあい館）	04-03-07	5,394	2,716	2,017	2,181	推進	推進	子育て中の親子が交流し、育児相談ができる場の提供は、孤立化の防止に資する事業であるため、推進する。
子ども読書活動推進事業（ふれあい館）	04-03-08	5,193	4,297	1,816	2,157	推進	推進	児童の健全育成を図る上で、また図書を通じた子育て支援策を展開していくため、今後も事業を推進していく。
出産・子育て応援事業	09-02-36	28,771	31,517	17,089	19,068	重点的に推進	重点的に推進	妊娠期から子育て期にわたる総合的な切れ目のない支援の起点となる事業であり、子育て世代に対する支援に加えて、児童虐待の未然防止策としても、優先度が非常に高い事業である。
子ども・子育て会議事務費	10-01-01	3,853	4,260	589	540	推進	推進	法定事務であり、子ども・子育て支援計画の改定などを審議する事務であるため、推進する。
公有財産管理	10-01-05	1,632	2,503	—	643	継続	継続	財産の管理に伴う必要な処理を行う事務であるため、継続して実施する。
児童福祉施設等指導検査	10-01-06	41,637	50,086	1,071	1,901	推進	推進	当該事務は、利用者支援の観点から、保育施設等における適正な運営及び保育の質の確保等を図る目的の事業であるため、推進する。
管理運営費（子育て支援課分室・宮地ひろば館複合施設）	10-01-07	16,805	9,504	5,943	4,244	継続	継続	区民が利用する地域交流の拠点として、適切な施設の維持管理・運営を行う事業であるため、継続して実施する。
子育て支援情報提供事業	10-01-08	4,829	5,854	2,135	1,670	重点的に推進	重点的に推進	区民が、子育てに関する有益な情報を容易に入手できるようにするため、重点的に推進する。
産後支援ボランティア助成事業費	10-01-09	4,003	5,161	3,432	4,231	継続	継続	養育困難な新生児を対象とした子育て支援策として、虐待の未然防止を図るため、今後も事業を継続していく。
ツインズサポート事業	10-01-10	2,228	3,705	922	915	継続	継続	多胎児を養育する家庭のあらゆる負担を軽減する事業であるため、継続して実施する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		2年度	3年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
地域子育て見守り事業	10-01-11	6,858	1,882	4,818	952	継続	改善・見直し	民生・児童委員及び主任児童委員による在宅育児家庭の見守り事業として効果的な実施方法の検討が必要である。
託児サポーター	10-01-12	1,344	1,556	1,099	1,091	継続	継続	子育て家庭の社会参加を促す事業であるため、継続して実施する。
親子ふれあい入浴事業	10-01-13	2,053	2,031	503	1,101	継続	継続	地域の社会資源を活用した子育て支援策として、継続的に実施していく。
あらかわベビーステーション（赤ちゃんの駅）設置事業	10-01-14	892	935	239	5	継続	継続	乳幼児をもつ親が安心して外出できる環境を創出する事業であるため、継続して実施する。
新生児・3歳児絵本贈呈事業	10-01-15	5,600	5,083	4,376	4,153	継続	改善・見直し	絵本を通して親子のコミュニケーションを深める事業であるが、地域文化スポーツ部で同様の事業を開始予定のため事業の検討・見直しを行う。
地域子育て交流サロン事業（子育て支援課）	10-01-17	85,740	110,497	73,982	101,833	重点的に推進	重点的に推進	子育ての楽しさを共有すると共に、在宅育児家庭の育児不安や孤立化等の解消を図るため、重点的に推進する。
子育てボランティア団体育成支援事業	10-01-18	623	868	378	403	継続	継続	子育てに関するボランティア団体の支援は必要な事業であることから、継続的に実施していく。
多様な事業者の参入促進・能力活用事業	10-01-34	2,040	5,234	—	3,374	継続	継続	保護者の負担軽減として必要であり、継続して実施する。
外国人学校保護者補助	10-01-35	16,612	14,418	14,980	12,558	継続	継続	保護者の負担軽減として必要であり、継続して実施する。
子育て世代包括支援センター事業	10-01-36	4,157	4,112	2,309	2,304	重点的に推進	重点的に推進	妊産婦又は児童を養育する保護者等に対し、切れ目のない支援を行うことは必要であり、重点的に推進する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		2年度	3年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
ファミリー・サポート・センター事業	10-01-37	12,073	12,057	11,257	11,127	継続	継続	地域の相互援助活動として必要であり、継続する。
児童手当給付事業	10-01-49	2,938,949	2,881,119	2,933,236	2,874,816	継続	継続	国の基準に基づき、継続する。
子ども医療費助成事業	10-01-52	758,933	903,487	757,709	902,092	継続	継続	都の基準に基づき、継続する。
ひろば館の運営	10-02-01	41,316	202,774	8,305	96,848	継続	継続	児童の健全な育成を図るため、継続して実施する。
放課後子ども総合プラン (学童クラブ・にこにこすくーる)	10-02-14	922,943	1,365,988	871,594	1,191,218	重点的に推進	重点的に推進	一体型の放課後子ども総合プランの全校実施に努めるとともに、更なる事業内容の充実を図るため、重点的に推進する。
病児・病後児保育事業費	10-03-03	24,215	23,733	21,814	22,136	重点的に推進	重点的に推進	保護者の子育てと就労の両立をさらに支援するため、重点的に推進する。
地域活動事業費(区立保育園)	10-03-06	839	767	839	767	推進	推進	在宅育児支援策として必要な事業であるため、推進する。
緊急一時保育事業費	10-03-13	2,166	1,990	1,366	1,192	継続	継続	現状の内容で、支援が受けられない在宅子育て世帯に対し、支援を継続する。
一時保育事業	10-03-14	52,214	65,596	48,123	63,670	重点的に推進	重点的に推進	在宅育児家庭の負担を軽減し、児童虐待を防止する観点からも極めて重要である。
地域子育て交流サロン事業 (保育課)	10-03-16	17,736	18,581	16,843	17,872	重点的に推進	重点的に推進	子育ての楽しさを共有するとともに、在宅育児家庭の育児不安や孤立化等の解消を図るため、また養育困難などで相談に訪れる保護者の相談先となるため、重点的に推進する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		2年度	3年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
荒川遊園管理運営費	10-04-01	461,933	872,908	1,304,269	1,993,747	重点的に推進	推進	荒川区の子育て支援施設の拠点であるとともに、区の最大の観光資源であり、荒川遊園の管理運営は重要である。
ショートステイ事業	10-06-05	18,331	22,647	13,711	14,769	継続	継続	児童福祉法において市町村が実施する事業として規定されており、家庭で一時的に養育困難となった児童の養育環境の確保のため、継続していく。
合 計		5,491,912	6,637,866	6,126,764	7,355,578			